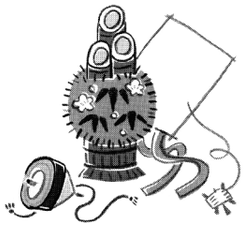
大 洲 民 報 | 2019 年 1 月 13 日 | 日 本 共 産 党 大洲市委員会 | 23-3271 39-2915

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、豪雨災害で大変な一年でした。

今年が皆様にとって良い年になりますようにご祈念申し上げます。



大洲市１２月定例議会

～日本共産党　梅木かづこ の 議会報告　～

○大洲市復興計画暫定版について

7

2022

＜答弁＞　肱川、河辺地域の防災行政の無線は、現在は本庁と肱川、河辺各支所を光ファイバーケーブルでつないで放送しているが、平成 30 年 7 月豪雨ではケーブルが断線し、本庁からの放送が届いていない状態に陥った。 7 月豪雨災害では、26 カ所の屋外拡声子局が被災したが、現在では設置箇所の移動による代替地の確保が必要な 1 カ所を除いて、仮復旧の 4 カ所を含む 25 カ所が屋外子局として稼働しており、移転の必要な 1 カ所と、仮復旧の 4 カ所についても年内には全て本復旧の予定となっている。

現在、予定しておりますデジタル化については、平成 31 年度に電波の測定を行った上で、中継局の必要数を決めていき、また音達範囲の測定により、屋外子局の設置箇所の検討、それらに基づく事業費の積算などの実施設計業務を行う予定としている。財政状況を考慮した上で、できるだけ早い時期にデジタル化による整備を進めてまいりたいと考えている。

今回の災害を機に、情報共有の大切さを再認識したことから、復興計画の中でも同様に多彩な情報伝達手段の確保や消防団への情報伝達手段の確保なども項目として掲げ、復興に向け取り組んでまいりたい。